

過去を知り未来へ繋ぐ
2021~2022年度 会長 國谷 大輔

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ
2021~2022

会報

●例会場／ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
 ●例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
 ●事務所／ニチロビル4F
 TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
 ●会長／國谷大輔
 ●副会長／黒島一生
 ●会長エレクト／安田雄二
 ●幹事／吉村昭夫
 ●副幹事／平井喜一
 ●友好クラブ／長崎東ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
シェカール・メータ
国際ロータリー2021-22年度会長

第3062回 10月12日(火)

本日の
プログラム

次回の
プログラム
10月19日(火)

「國谷・吉村丸 出航例会」
「未 定」
函館商工会議所 永澤 理氏

第3061回例会 2021年10月5日(火) 天候 雨

■ロータリーソング 奉仕の理想

■司 会 國谷 大輔 会長

■今月の誕生日

9/1 佐藤真一会員、10/15 宮崎徳三郎会員

10/17 平井会員、10/23 吉川会員

■今月の結婚日

9/6 吉川会員、9/9 佐藤雄喜会員

10/17 原会員、10/21 安田会員

10/28 小野会員

■会長報告

1、ロータリー財団よりマルチプル・ポール・ハリスフェローのピン並びにポール・ハリスフェローの感謝状が届きましたのでお渡しいたします。

森元会員（ピン6）、時田茂会員・池垣会員（ピン

2）、佐藤真一会員・五十嵐正会員・佐藤美子会員（ピン1）

「米山月間にちなんで」

ロータリー財団・米山記念奨学委員会
委員長

時田 茂 会員

日本のロータリーは外国人留学生を
支援しています

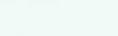
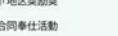
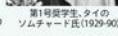
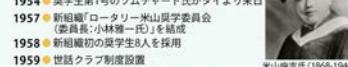
2021-22

ロータリー米山記念奨学事業
豆辞典



事業のあゆみ

- 1952 ◉ 第二次世界大戦終戻
- 1946 ◉ 米山梅吉氏逝去
- 1947 ◉ ポールハリス氏死去
- 1949 ◉ 日本のロータリーが国際ロータリーに復帰
- 1951 ◉ サンフランシスコ講和条約調印
- 1954 ◉ 国費外国人留学制度開始
- 1956 ◉ 経済自立「はやく戦争ではない」
- 1960 ◉ 新・日米安全保障条約調印
- 1961 ◉ 東京で国際大会開催
- 1964 ◉ 東京オリンピック
- 1970 ◉ 大阪万博開幕
- 1972 ◉ 日中正常化
- 1975 ◉ 米山週間を4月に決定
- 1978 ◉ 東京で国際大会開催
- 1980 ◉ 米山週間を4月から10月に変更
- 1983 ◉ 米山週間が米山月間(10月)になる
●「留学生受け入れ10万人計画」発表
- 1985 ◉ つくは万博
- 1989 ◉ ソウルで国際大会開催
- 1991 ◉ パブル絶頂崩壊
- 1995 ◉ 阪神・淡路大震災
- 2001 ◉ アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2003 ◉ 在日留学生10万人突破
- 2004 ◉ 大阪で国際大会開催
- 2005 ◉ ロータリー100周年
●愛・地球博(愛町万博)
- 2008 ◉ 「留学生30万人計画」発表
- 米金融危機
- 2010 ◉ 第2750地区に東京米山友愛RC創立
- 2011 ◉ 東日本大震災
- 2012 ◉ 第2750地区に東京米山ロータリーEクラブ2750創立
●バンコクで国際大会開催
- 2013 ◉ ロータリー世界平和フォーラム広島開催
●第2750地区にさいたま大空RC創立
- 2016 ◉ 熊本地震
●ソウルで国際大会開催
- 2020 ◉ 新型コロナウイルス感染症の流行
●日本のロータリー100周年



過去を知り未来へ繋ぐ

ロータリー米山記念奨学生事業とは？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する民間奨学生団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学生金を支給し、支援する国際奨学生事業を行っています。



将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目標です「平和と国際理解の推進」そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？

この事業は1952年、東京ロータリークラブ(RC)が発表した「米山基金」が始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい——。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学生事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、「平和と日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。



3

活躍する米山学友

日本初のアフリカ人学長

ウスピ・サコさん
(マリ出身 1992-94/京都北RC)

高校卒業と同時に国の奨学生を得て中国に留学。中国・北京語言大学、南京の東南大学等に5年間滞在して建築学を学ぶ。2001年に京都精華大学教員、2015年4月より同大学長に就任し、日本の大学で初のアフリカ出身学長となる。著書に「これから世界を生きる君に伝えたいこと」(2020、大和書房)。専攻は空間人類学。



新進気鋭のアーティスト

張 姪 姐 (チュエ エンエン)さん
(中国出身 2018-19/東京江北RC)

アートの世界で生きることをして来日。日本で2つの大学院を修了する研究への持続性。2019年、着手アーティストの登壇門とされる上野の森美術館大賞展で大賞受賞。東京芸術修了展覧会にて墨文化財団賞受賞。溶かした蜜蝋を亞麻布に染み込ませる技術(コンカウスティック)で独創的作品を生み出している。



ニコニコボックス

國谷会長、吉村幹事 時田委員長、卓話よろしくお願ひします。

佐藤雄喜会員、外崎会員、三輪会員、安保会員、宮崎あけみ会員、池田会員、松山会員、時田会員、森元会員、野呂会員、松井会員 お久しぶりです。

吉川会員 誕生日です。

五十嵐稔会員 久しぶりです。会長・幹事、例会大変でしょうが、よろしくお願いします。

安田会員 月はじめです。親睦の皆様いつもご苦労様です。

佐藤美子会員、吉田恵美子会員、吉田昇会員、新保会員、佐藤真一会員、宮崎徳三郎会員、高野会員、小野会員 月はじめです。

原会員 結婚月です。51回目になりました。

平井会員 国際奉仕委員会、明日行ってまいります。

黒島会員 明日から国際奉仕の事業で名古屋に行つてきます。

有雄喜フラワーデザインスタジオ

佐藤 雄喜 会員

松風町12-13 電話 23-7541

ロータリー米山記念奨学生の特長

交流を大切にしています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、奨学生期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コミュニティに参加することができます。



事業について
概要

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学生期間中、奨学生は世話クラブで奨学生を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつめます。

民間最大の国際奨学生事業

2021学年度の奨学生数は910人、事業費は14億5千万円(2020-21年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学生では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,267人(2021年7月現在)、その出身国は世界129の国と地域に及びます。



米山記念奨学生事業は、国際ロータリーから認められた日本のロータリー全地区による多地区合同活動です

外国人留学生の支援を通じ、日本と母国との平和の懸け橋になる人材を育て、国際親善に寄与しています

これまでに集った約2万人の元米山奨学生は、世界各地で活躍しています

原子力分野における日台交流の重鎮

謝牧謙(シャ・ボッケン)さん
(台湾出身 1965-67/仙台RC)

台湾エネルギー研究所勤務。日本開拓会議、日本エネルギー政策研究会や「原子力安全セミナー」で青年中心的役割を果たし、福島原発事故後における日台交流の礎を築いた。福島原発事故後での正確な情報発信や理論的浸透にも尽力。今和2年「旭日中綱章」受章。輔仁大学兼任教授、台湾大学・文化大学日本研究センター諮問委員。



奨学生・学友
活躍する米山学友

中性子ビームによる構造解析の匠

ステファヌス・ハルヨさん
(インドネシア出身 1995-97/立南RC)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター研究生幹事。設計・建設した中性子実験装置「ZAKUMI」の装置責任者。中性子を用いた日本刀などの文化財、車や建物の内部状態の調査、先端技術や金属材料の変形構造調査などでの成績を挙げている。2019年、日本鉄鋼会澤村論文賞受賞。



奨学生・学友
活躍する米山学友

年間カレンダー：奨学生が決まるまで

6月 奨学会で地区割当数を決める

- ① 寄付金収入予測に基づき全体採用数を決定(2022学年度:880人枠)
② A~D各要素の対全国比と、配当金分を累積し加えた数を地区割当数とします(p9参照)
・2022学年度の地区割当算出に使用するのは2019-20年度寄付実績です



7月 地区で指定校を被推薦者数を決める

- ・地区米山選考委員会が指定校を毎年選定します
・同委員会では、学校説明会を開くなど要望を伝え、奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらうようお願いしています

8月 募集スタート

- 奨学会から指定校へ通知するほか、ホームページで指定校・募集要項を発表します

8～10月 指定校での学内選考と申込み

- 奨学会で申込みを受け付け書類をチェック
応募締切:10月15日

11～1月 書類選考・面接試験

- 地区ごとに面接官オリエンテーションを実施し、全国共通の基準にしたがって面接選考します

12～2月 合否発表

- 地区的報告欄に学校専用画面で「合格内定」「不合格」を発表。当理事会会後、3月下旬に合格通知を学校経由で送付します

4月 オリエンテーション

- 世話クラブ・カウンセラーとの初顔合わせ、確約書にサインし正式に米山奨学生となります

事業について
概要

奨学生が決まるまで

10

広告料

(有)さとう印刷 佐藤美子会員

(有)野呂葬儀社 野呂信詞会員

(有)不動産企画 ウイル 佐藤真一会員

森元浩会員

出席報告

- ・10月5日(火) 会員37名中 出席27名(欠席10名)

市内他クラブ プログラム

10月13日(水)	函館北RC	卓	話
10月14日(木)	函館RC	卓	話
10月15日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
10月18日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆ テレfonサービス 26-3170 ◆

*函館RC・函館五稜郭RC・函館セントラルRCの通常例会はコロナウイルス感染対策としてビジターの受付は行っておりません。

サロンドエピ(有)しんぽ建築設計室

新保 栄子 会員

花園町8-8 電話 56-4624